

2012 年度  
日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

共催：統計数理研究所

後援：応用統計学会

2012 年 5 月 25 日（金），26 日（土）

統計数理研究所 大会議室（2 階）

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3； <http://www.ism.ac.jp/>

5 月 25 日（金） 12:00～12:50 理事会（会議室 D208）

12:55～13:00 開会の挨拶

13:00～14:20 一般講演 『臨床試験デザイン』

14:30～15:50 一般講演 『ゲノム』

16:00～17:20 一般講演 『臨床研究』

17:30～18:30 評議員会（会議室 D208）

5 月 26 日（土） 9:40～11:40 特別セッション

『海洋生物資源評価のための統計モデルと解析』

11:40～12:40 日本計量生物学会総会・学会賞授与式

13:20～14:20 特別講演

『臨床研究と生物統計学：解析、デザイン、そしてコミュニケーション』

14:30～15:30 一般講演 『環境・農業』

15:40～17:00 一般講演 『医薬品・臨床研究』

年会参加費：正会員 1,000 円，応用統計学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，  
（事前登録の場合は正会員 1,000 円，応用統計学会員 2,500 円，非会員 4,500 円）  
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2012 年度

## 日本計量生物学会年会プログラム

5月25日(金) 12:55~17:20, 26日(土) 9:40~17:00 (開場 9:20)

統計数理研究所 大会議室 (2階)

主催：日本計量生物学会

共催：統計数理研究所, 後援：応用統計学会

年会参加費：正会員1,000円, 応用統計学会員3,000円, 非会員5,000円,

学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

(事前登録の場合は正会員1,000円, 応用統計学会員2,500円, 非会員4,500円),

学生(正会員, 非会員とも) 1,000円)

### チュートリアルセミナー

主催：日本計量生物学会, 応用統計学会

共催：統計数理研究所

日時：5月25日(金) 9:30~12:00 (開場 9:10)

会場：統計数理研究所 大会議室 (2階)

(〒190-8562 東京都立川市緑町10-3; <http://www.ism.ac.jp/>)

テーマ：予測医療に向けた臨床試験デザイン

講師：松井茂之(統計数理研究所)

山中竹春(国立がん研究センター)

吉村健一(京都大学)

参加費：正会員, 応用統計学会員 3,000円, 非会員 5,000円, 学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

(事前登録の場合は正会員, 応用統計学会員 2,500円, 非会員 4,500円,

学生(正会員, 非会員とも) 1,000円)

# 日本計量生物学会年会

5月25日(金)

12:00~12:50 理事会 (会議室 D208)

12:55~13:00 開会の挨拶

日本計量生物学会会長 佐藤俊哉

13:00~14:20 一般講演: 臨床試験デザイン 座長 嘉田晃子 (国立循環器病研究センター)

- 臨床試験で量的・質的な予後因子をバランスさせる割付方法  
渥美淳 (東レ株式会社)、平川晃弘 (名古屋大学)、浜田知久馬 (東京理科大学)
- 経時測定アウトカムデータを考慮した Bayesian adaptive randomization  
畑山知慶、森田智視 (横浜市立大学)
- 二つの主要変数をもつ群逐次試験の標本サイズの設計と評価  
朝倉こう子、林賢一 (大阪大学)、杉本知之 (弘前大学)、寒水孝司 (京都大学)、濱崎俊光 (大阪大学)
- 臨床試験における中間解析の実施時期  
東郷香苗 (ファイザー株式会社)、岩崎学 (成蹊大学)

14:20~14:30 休憩

14:30~15:50 一般講演: ゲノム

座長 伊藤陽一 (北海道大学)

- Detection of irregular patterns of gene expression and diagnose the model based on  $\beta$ -weight distribution  
Md. Manir Hossain Mollah (東京大学)、Md. Nurul Haque Mollah (University of Rajshah, Bangladesh)、Hirohisa Kishino (東京大学)
- 遺伝的アルゴリズムとグラフィカルモデリングによる遺伝子ネットワークのモジュール構造と発現形質への影響の推定  
中道礼一郎 (東京海洋大学)、岸野洋久 (東京大学)、北田修一 (東京海洋大学)
- t 統計量の一般化とその実データ解析への応用  
小森理、江口真透 (統計数理研究所)、John B. Copas (The University of Warwick)
- マイクロアレイデータを用いた Cox 回帰に基づく遺伝子選択  
金子周平 (鳥居薬品株式会社)、平川晃弘 (名古屋大学)、浜田知久馬 (東京理科大学)

15:50~16:00 休憩

16:00~17:20 **一般講演：臨床研究** 座長 西川正子（国立保健医療科学院）

- 臨床試験登録が担保する事前分布の柔軟な仮定  
柳本武美、小椋透、小林千鶴（中央大学）
- 多施設臨床試験における生存時間解析のためのノンパラメトリック共変量調整法  
川口淳（久留米大学）
- 回帰樹木における構造推定の信頼性を考慮したアルツハイマー発症リスク分類  
中谷英仁（臨床研究情報センター、京都大学）、周玢（臨床研究情報センター）、手良向  
聡（京都大学）
- 周辺構造モデルを用いた主要層別効果の推定および感度解析  
上村夕香理（東京大学）、田栗正隆（横浜市立大学）、千葉康敬（近畿大学）

17:30~18:30 **評議員会**（会議室 D208）

## 5月26日（土）

9:40~11:40 **特別セッション：海洋生物資源評価のための統計モデルと解析**

オーガナイザー・座長 北門利英（東京海洋大学）、南美穂子（慶應義塾大学）

- 水産生物の年齢形質有効性検証のための統計モデル  
岡村寛（国際水産資源研究所）
- 体長分布と資源量の傾向変動に基づく海域の分割  
南美穂子（慶應義塾大学）
- 傾向スコアによる漁獲効率解析  
庄野宏（鹿児島大学）
- 遺伝情報と形態測定情報を利用した集団構造の推測と水産資源への応用  
北門利英（東京海洋大学）、Tore Schweder（オスロ大学）、上田真久、Luis A. Pastene  
（日本鯨類研究所）、Lars Walløe（オスロ大学）

11:40~12:40 **日本計量生物学会総会・学会賞授与式**

13:20~14:20 **特別講演（2011年度学会賞受賞者講演）** 座長 佐藤俊哉（京都大学）

大橋靖雄（東京大学）

『臨床研究と生物統計学：解析、デザイン、そしてコミュニケーション』

14:20~14:30 **休憩**

14:30~15:30 一般講演：環境・農業 座長 三中信宏（農業環境技術研究所）

- シリングル(内モンゴル)における55年間の気象の数値分類に対応した牧草生産の予測  
亦如瀚（暨南大学）、塩見正衛（放送大学）、秋山侃（岐阜大学）、汪詩平（中国科学院植物研究所）、艾麗坤（中国科学院大气物理研究所）、堀良通（茨城大学）
- 福島第一原子力発電所事故後の東日本における空間放射線量率の時空間分布  
大谷敬子、大瀧慈、富田哲治、佐藤健一（広島大学）
- 放射線被ばくリスクの評価  
柳川堯（久留米大学）

15:30~15:40 休憩

15:40~17:00 一般講演：医薬品・臨床研究 座長 角間辰之（久留米大学）

- 抗がん剤の第I相試験の薬物動態データの比例性の解析における問題  
須永義則、石塚直樹（サノフィ・アベンティス株式会社）
- 臨床試験の経時反復測定データに対する Penalized spline と MMRM の性能比較  
勘場大、長谷川貴大、渡辺秀章（塩野義製薬株式会社）
- 経時測定データへの key-factor/key-stage 分析の応用  
山村光司（独立行政法人農業環境技術研究所）
- 経時データにおける平均への回帰現象を減弱させる統計モデルの比較  
高橋行雄（BioStat 研究所株式会社）

17:00 閉会

## 会場へのアクセス

羽田空港から：

- 東京モノレールで浜松町駅、または京浜急行で品川駅へ  
→JR 山手線に乗り換え新宿駅へ→JR 中央線に乗り換え立川駅下車
- リムジンバスで立川地区まで直通約 100 分

立川駅から：

- 立川北駅から多摩モノレールで高松駅下車 徒歩約 10 分
- 立川駅北口バス乗り場 2 番から、「大山団地方面行き」で「立川学術プラザ」下車  
(正門前に停車) または「裁判所前」バス停下車 徒歩約 5 分
- 立川駅より徒歩約 25 分

地図は [http://www.ism.ac.jp/access/index\\_j.html](http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html) をご参照ください。

## 昼食について

学会会場の統計数理研究所には食堂、売店等はありません。またモノレールの最寄り駅である高松駅周辺には店は少ないので、**各自、立川駅周辺等にて昼食をご準備ください。**

会場は飲食禁止です。昼食をとるための部屋を用意いたしますので、ご利用ください。

## 親子休憩室の利用について

親子休憩室は、チュートリアルと年会の時間帯にご利用いただけ、飲食が可能です。なお、お子さんの安全確保のため、**保護者が常時お子さんに同伴することが必要**です。利用をご希望の方は、年会の事前参加申込書中に利用人数をご記入ください。

## チュートリアルおよび年会期間中の会場への電話による問い合わせおよび連絡

期間中（5月25日、26日、両日とも9:00-17:00）事務局並びに参加者へのご連絡、お問い合わせを、電話番号080-2620-2793にて承ります。

---

---

日本計量生物学会年会運営

和泉志津恵（大分大学）

高橋邦彦（国立保健医療科学院）

手良向聡（京都大学）

服部 聡（久留米大学）

椿 広計（統計数理研究所）

問い合わせ先：日本計量生物学会事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階

（公財）統計情報研究開発センター内

Fax: 03-3234-7472 E-mail: [biometrics@sinfonica.or.jp](mailto:biometrics@sinfonica.or.jp)

URL: <http://www.biometrics.gr.jp/>

年会期間中の連絡先：080-2620-2793

---

---